

青梅市文化財ニュース

第 13 号

昭和63年10月 1日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会
青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel.0428-23-6859)

市内にある指定文化財は185件

青梅市は文化財の多い市です。昭和63年4月現在、国、都、市の指定文化財はなんと185件（点）もあるのです。

内訳は、国指定（15）国宝 2、重要文化財 8、重要美術品 4、天然記念物 1

都指定（36）有形文化財 22、有形民俗文化財 1、無形民俗文化財 1

天然記念物 4、史跡 4、旧跡 4

市指定（134）有形文化財 76、有形民俗文化財 8、無形民俗文化財 8

天然記念物 15、史跡 25、旧跡 2

＊ 史跡とは歴史上の事件や施設のあったところで、昔の状態を比較的良好に留めているところ。

旧跡は旧態は留めていないが、価値のあるところをいいます。

所在地別では武蔵御嶽神社が郡を抜いて多く26点を所蔵（国9、都3、市14）塩船観音寺14点（国3、都4、市7）、金剛寺14点（国1、都9、市4）と続きます。

“青梅市の民俗” 近く復刻発刊——郷土博物館で入手できる史料——

青梅市には市制施行15周年を記念して昭和41年11月1日に発刊された定本市史“青梅”がありますが、現在では入手困難の状況です。この発刊をきっかけに、多方面にわたる調査が行われ、報告書が発行されています。この中から、現在でも郷土博物館等で入手可能なものを下の掲げてみました。

青梅市の板碑	4000 円	青梅市の自然Ⅰ・Ⅱ	各 5000 円
青梅市の町屋	2600 円	青梅市の民家	4000 円
人生儀礼緊急調査報告書	2500 円	青梅市の社寺建築	5000 円
寺改戸遺跡	3000 円	裏宿遺跡	5000 円
千ヶ瀬遺跡と多摩の縄文	5000 円	宗門人別帳（1）～（4）	各 1000 円
御廻状留帳（4）・（5）	各 1000 円	皇国地誌西多摩郡村誌（6）	1000 円
青梅市文化財地図“青梅を歩く”	500 円		

教えてください——小説等に出てくる“青梅”——TEL 23-6859 へ

山本有三著“真実一路”、三島由紀夫著“宴のあと”……青梅が登場する小説です。

現在、このことについて調べておりますので、知っておられる方は、博物館までご連絡を。

（文責 川鍋幸三郎）